

出産までのスケジュール

出産までの体の変化・気を付けてあげること

| | |
|------------------------------|--|
| 無発情期 | 交配準備として、健康診断を受けましょう。 |
| 発情期 | |
| 妊娠前期 | 交配から20日前後で着床し30日前後で犬の形になってきます。 不安定な時期なので激しい運動やシャンプーを控えます。 フードは普段食べている成犬用でOKです。 偏食がある場合は獣医師の食事指導をうけます。 |
| 妊娠中期 | 安定期に入りお腹が少しずつ膨らみます。軽い運動・シャンプーOKです。 フードは妊娠授乳期用に少しずつ切り替えます。 この時期から超音波で赤ちゃんを確認できます。 |
| 妊娠後期 (50日以降) | お腹が大きくなるので段差などに注意してあげましょう。 特に、足の短い犬は擦過傷に注意してあげます。 抱っこはお腹を圧迫しないように気を付けましょう。 |
| 妊娠末期 (妊娠から50日～ 64日でお産) | 胎児数、胎児の大きさ、母犬の骨盤の状態をみてもらう。 出産時の緊急事態に備えて連絡が取れるよう獣医師に予定日を伝えておく。 陰部回り、乳腺回り、尻尾の付根の毛をカットしておく。 |

出産間近になったら・・・産室や道具準備をします。

飼い犬は人に頼って生きています。そのため自分でできないこともたくさんあります。
飼い主が飼い犬に代わって準備を整えてあげましょう。

・産室：

飼い犬の体の1.5～2倍の産室を段ボールなどで作ってあげます。屋根があると安心します。
出産の少し前から産室に入ることを慣れさせると良いでしょう。子犬が動き回って出てしまわないように入口は少しだけ高めにします。できるだけ静かで落ち着ける場所に設置しましょう。

・多頭飼いの場合：

産室に他の犬(父犬含め)が近づかないようにします。
一緒にいなくても不安にならないよう別々の時間に少しずつならします。

・道具：

体温計、秤、タオル、糸、はさみ、消毒綿、保温箱(小さな段ボールにタオルなどを敷いたもの)、筆記用具。いずれも念のため消毒しておきましょう。

出産の兆候

出産の2日くらい前から体温が少し下がります。当日は食欲がなくなり、腸を空にするために軟便になります。

分娩、助産ページも参考にしてください。

ライオン動物病院 フリーダイヤル 0120-137706

この案内は、愛犬の出産を勧めるものではありません。子犬が生まれた後のことも考え、計画的に出産や避妊を考えましょう。